

■e-黒板ニュース（第33号）：指導室訪問体験記（鐘淵中学校）

今日は、あの渡部校長がいらっしゃる東京都墨田区立鐘淵中学校の授業見学に行ってきました。墨田区の教育委員会事務局指導主事の方が、授業を見に来られる日で、「指導室訪問」というのだそうです。校長先生の了解を得て、私も邪魔したというわけです。

はたして、今日の授業をご覧になった教育委員会の方は、どう思われたでしょうか。前号で上原先生がレポートされたように、「IT活用の効果」を納得されたでしょうか。そして、IT機器やソフトの購入に予算がついて来年度からは、全ての教室で、IT活用の授業が日常的に行われるようになるのでしょうか。

今号の目次：

=====
1. 報告：指導室訪問体験記（鐘淵中学校）
=====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。会員の皆様からの投稿もお待ちしております。

宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

e-黒板研究会のホームページ

<http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban>

をご参照ください。e-黒板ニュースのバックナンバー等もご覧いただけます。

1. 報告：指導室訪問体験記（鐘淵中学校）

あの「金八先生」が勤務している桜中学校は、東武東上線の堀切駅に隣接しています。そこから南に徒歩7分。渡部校長や市倉先生、川上先生のいる墨田区立鐘淵中学校があります。

11時50分からの4時間目の授業は、音楽・国語・技術科・理科・数学など、8つの授業が実施されていました。わたしは、迷わず市倉先生の数学を選択しました。この教室が唯一、電子情報ボードを使った授業だったからです。

いきなり、プリントが配られました。100マス計算です。先生はストップウォッチで時間を計ります。「目標は2分」と書いてありましたが、一番早い生徒は1分15秒。2分では半数以上の生徒が「ハイ！」と手を挙げました。

次は、前時の復習。「二等辺三角形の頂角の二等分線は底辺を垂直に二等分する」という定理を証明する問題です。

一つの二等辺三角形だと思っていた図が、先生の操作で、二つの直角三角形に別れました。授業の最後には、「新ワザ紹介！」と叫んで、画面の三角形の頂点をつかんでグルグルまわりました。すると、三角形がいろいろな三角形に変形します。

鋭角三角形、直角三角形、そして、鈍角三角形です。GSL(?)で開発されたフリーウェアをダウンロードして使われたのでしょうか。

市倉先生は、ずいぶんこの日の授業のために準備をされたようです。そのことは、生徒にも伝わったのではないのでしょうか。

そうそう、お昼には、学校の給食をみんなでいただきました。コッペパンと牛乳、野菜スープとラザーニャ、みかんもついていました。そして、特別に釣鐘型の最中。最中は、たぶん校長先生の差し入れだったのでしょうか。どれもみんな、おいしくいただきました。ご馳走様でした。

5時間目は、先日もお会いした理科の川上先生の授業を見学させていただきました。単元名は「温度による物質の変化」で、今までの総まとめ「身のまわりの物質の蒸留」です。授業のはじめに、実験結果のグラフを電子情報ボードを使って提示されていました。川上先生の化学実験の授業は、歯切れがよいです。大きな声で説明し、仕切るので、授業もメリハリがつかます。

授業の後に、先生方とみんなで電子情報ボードを囲んで、研修会のような雰囲気になったのがとてもよかったです。「こんな風に使えないの」「こうすれば、できるよ」「すごい！」といった感じです。渡部校長先生の思い通りに進んでいるのではないのでしょうか。

少し、時間はかかりそうですが、無理をせず、先生方がその気になるのを待つ。そして、みんなで教えあって、知恵を出しあって、「授業を変えていく」。

そんな雰囲気が、とても心地よい時間となっていました。きっと、もうすぐ校長先生の働きかけで、メーカーにも声をかけて、先生向けの「e-黒板研修会」が開かれることでしょう。

そして、それは先生方が自主的に参加する「e-黒板研究会・e-教科書研究会」に育っていくと思います。校長先生の強い意志がそれを実現させることでしょうか。私には

そういう予感がします。

以上

```
=====  
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一  
e-黒板ニュース メールアドレス： ekokuban@cec.or.jp  
e-黒板研究会 ホームページ： http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/  
=====
```